

エネルギー部会

1 事業目的

省エネ型ライフスタイルの普及・啓発や自然エネルギーの利用を促進するための仕組みづくりを進める。

2 事業の内容

打ち水の普及・推進

ヒートアイランド現象の緩和を目的に、すいた水循環フェアにおいて打ち水の普及啓発を図った。

実施日：平成25年8月3日（土）

実施場所：浜屋敷

（吹田歴史文化まちづくりセンター）



講演会「気候変動と地球温暖化」

気候変動の実態や今後の地球温暖化の見通しに関する講演会を実施。あわせて暮らしのCO₂ダイエット取組結果報告会と、吹田くわいを使ったぜんざいの試食を行った。

実施日：平成25年5月17日（土）

実施場所：千里市民センター 多目的ルーム

講師：気象庁大阪管区气象台 山本善弘氏



「みどりのカーテン」の普及・啓発活動

ヒートアイランド現象の緩和に資するものとして、自然部会との協働で、みどりのカーテンの普及促進に取り組んだ。

育成講座の開催

実施日：平成26年4月19日（土）

実施場所：メシアター集会室

参加者：8世帯18名



暮らしのCO₂ダイエット

吹田独自の環境家計簿を作成・配布し、市民の地球環境に配慮したライフスタイルの普及を図った。

参加世帯数：201世帯



エコプレスの発行

環境に関する情報提供のツールとして、年4回（7月、10月、1月、4月）エコプレスを発行した。取材・編集は、関西大学良永ゼミの学生の皆さんが行っている

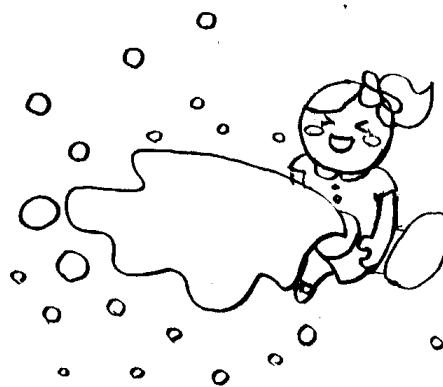


3 実施評価及び課題

緑のカーテン講座は毎年継続して実施しており、子どもたちの環境意識の向上につながっている。暮らしのCO₂ダイエットについては、今年度はより取り組みやすい内容となるよう記入ページを削減した。また、記入を2か月伸ばして8か月とし真冬の実態を調査した。今後、さらに参加者の増加を図っていく。再生可能エネルギーの普及・啓発については、これまで以上に有効な取組を検討する必要がある。

4 参加メンバー

田中 脩、富 淑子、江渕 征昭、西川 整子、吉田 誠、福井 一彦、奥田 倫子、
馬場 慶次郎、笹倉 俊男、森田 宏



資源部会

1 事業目的

持続可能な循環型社会をめざすため、使い捨てのライフスタイルを改め、ものを大事にする意識の啓発と、ごみを生まない資源循環の仕組みを形作る。

2 事業の内容

ごみの減量・資源化のための啓発

(1) 「すいたレジ袋削減・マイバッグ推進協議会」のメンバーとしての活動

平成24年度に引き続き、イベントや店頭でのキャンペーンを実施し、啓発のチラシを配布した。

① 店頭でのキャンペーン

第1回：6月21日～6月29日

第2回：10月1日～10月23日

計26回 参加店舗 13店舗



② 北摂地域共通マイバッグキャンペーン

平成26年1月28日(火) 北千里地区にて北摂7市のゆるキャラが勢揃いしてマイバッグキャンペーンを行った。



(2) すいた環境フェスタや吹田産業フェアなどで「ふろしきの包み方講習会」を実施し、お買い物の包みやティッシュカバーなどを体験していただいた。また、フェスタでは、体験した人に風呂敷を差し上げた。



実施日：すいた環境フェスタ 2月8日(土) 参加者：93名
吹田産業フェア 5月10日(土)、11日(日)

(3) あなたが見つかるエコなお店 in すいた

3R の推進や省エネや人にやさしい取組を行っている吹田市内の事業者を支援するため、ニュースレターやホームページで紹介した。

- ① スターバックスコーヒージャパン江坂オッツ店
マイボトルなど
- ② 高木酒店
お酒の量り売りなど
- ③ 市内クリーニング店（24店舗）
アンケート実施
- ④ イオン南千里店
レジ袋無料配布中止

市内に給茶ができるスポットを広げる取組み

(1) 11月14日 マイカップ・マイボトル持参の仕組みづくりの一つとして、市内に給茶ができるスポットを広げるための参考に大阪市内の象印の給茶スポット登録店2店舗を訪問し、ヒアリングを行った。



(2) 2月8日 すいた環境フェスタにおいて給茶コーナーを設け、マイボトル、マイカップ持参者に温かいほうじ茶を無料で提供し、PRを行った。



3 実施評価及び課題

「レジ袋削減」については、すいたレジ袋削減・マイバッグ推進協議会の一員として「マイバッグキャンペーン」を行ってきた。協議会参加企業の努力により、持参率が44%にUPした。また北摂7市の共同のキャンペーンも実現した。「エコなお店 in すいた」のニュースレター掲載を続けて行く。さらなる店舗発掘により吹田市独自のエコショップ制度につなげたい。「給茶コーナー」はマイカップ・マイボトルを広める活動として、市内に「給茶」できる協力店舗の発掘をしていきたい。

4 参加メンバー

伊藤智子、大澤浩子、戸坂篤子、福田規子、水川晶子、三輪信哉

自然部会

1 事業目的

吹田市域において生物多様性に配慮し自然を守り育てる活動を展開し、人と自然とが共生出来る環境づくりを推進する。

また、啓発活動や講習会を通じて、広く市民の環境意識を高めることを目指す。

2 事業の内容

外来生物ウォッチング

特定外来生物と吹田に咲く野草の観察ウォークを実施。講師は平軍二さん。市民とともに佐竹台、五月が丘等の植物を観察し、特定外来生物のオオキンケイギクとナルトサワギクの他、野に咲く小さな草花が吹田には沢山あることを学び、自然を守る取組の大切さを痛感した。

実施日：平成25年6月29日（土）

実施場所：阪急南千里駅～博物館

参加人数：12名



博物館3階広場にみどりの大カーテンを設置

温暖化対策と収穫したゴーヤを配布することで
の地産地消をアピール。現地にゴーヤのクイズ
を設置し、子ども達にも好評だった。

実施日：平成25年5月25日～10月1日



吹田花とみどりのフェアに参加

生物多様性のパネル展示で参加し、吹田にも繁殖する特定外来生物のオオキンケイギクとナルトサワギク等の啓発を行った。市民に生物多様性のパンフレットを配布し質問に答えるなど、有意義な活動が出来た。

実施日：平成25年11月9、10日（土日）
実施場所：江坂公園



みどりのカーテン講座開催

エネルギー部会と合同で、子どもと保護者を対象に開催。ゴーヤの育て方の実演やみどりのカーテンの温暖化対策効果の説明、楽しいゴーヤのクイズの後、ゴーヤの苗を配布した。

実施日：平成26年4月19日（土）
実施場所：メイシアター集会室
参加者：8世帯18名



3 実施評価及び内容

生物多様性の保全にかかる啓発活動として、外来生物ウォッチングや各種イベントにおけるパネル展示やパンフレット配布などにより、外来種に対する知識を深めてもらうための活動を行った。昨年度から、対象を小学生を含む親子としている「みどりのカーテン講座」については、子ども向けのクイズ等の評判もよく、時代を担う子どもたちへの環境意識の向上につながっている。

今後の取組として、生物多様性の啓発は自然部会の活動の柱だが、植物以外の昆虫や鳥、動物、魚等の多様性にも広がった取組も必要である。みどりのカーテン講座についてもより多くの市民に参加してもらえるよう内容や募集方法等の検討が必要である。

4 参加メンバー

伊藤 忠征、喜田 久美子、寺西 信明、有井 融、馬場 多佳子、森田 宏、
高畠 耕一郎

環境教育部会

1 事業目的

吹田市内における環境教育の更なる展開を目指して、様々な取組を行う。

2 事業の内容

市内企業・事業所における環境への取組勉強会

テーマ：環境配慮型施設見学会
実施日：平成25年11月20日(水)
実施場所：大坂ガス NEXT21
参加人数：20人



すいたエコ検定の企画・構築

すいたエコ検定（環境検定）の試作品をHPにて公開中。

平成25年度は充分調査ができず、実績なし。



レインボーすいた(環境学習プログラム)

環境学習プログラムを提供する側と利用する側を繋ぐデータベース。平成25年度は依頼がなく、実績なしでインプットできます。

環境学習プログラム登録数：37件



3 実施評価及び内容

市内企業・事業所における環境への取組勉強会は、来年度以降はアジェンダ全体事業として継続していく

4 参加メンバー

池淵 佐知子、塩谷 和久、福島 則広、菅田 勲、下村 敬三、温井 康之、

歩きたくなるまちづくり フラッグシッププロジェクト

歩きたくなるまちづくり～すいたエコウォーク～

平成25年（2013年）10月26日、アジェンダ21すいた「歩きたくなるまちづくり～すいたエコウォーク！～」を開催した。

当日は心配された台風の影響による雨風も収まり、歩くと少し汗ばむくらいのウォーキングにはちょうどよいお天気となった。

前日までの雨の影響で、キャンセルされる方が多いかも、というスタッフの心配をよそに、スタート会場の北千里ディオスパフォーマンスホールには、総勢55名が集まり、三輪代表の挨拶のあと、関西大学人間健康学部の小田伸午教授による「知っておきたいウォーキングのこと」と題したウォーキングセミナーを行なった。セミナー

では人の骨格や腕、鎖骨、肩甲骨、脚の動きについての科学的な説明や、快適に歩き続けるためのコツなどをレクチャーいただき、実際に参加者全員で会場内を回遊魚(?)のように歩いてみて先生の指導を受けるなど、日頃の自分の歩き方との違いにびっくりしたり、大いに盛り上がった。

また、このイベントに企画段階から携わってくれた関西大学良永ゼミの学生より、「みんなで作ろう【気づき】のマップ」のワークショップの説明があった。これは、



ウォーキング中に発見したまちの見所や、【気づき】（歩きたくなる要素）をポラロイドカメラやメモで記録し、これらを用いて最終的には【気づきマップ】を作成するというもの。

竹林コースは、約4.2kmの千里の竹林を満喫できるアップダウンのあるハードなコースで、一方の水遠池コースは自然（公園、池ほか）、まちなみ（マンション、住宅街他）、学校等ニュータウンの要素を備えた環境が多く見られる、約3.8kmの散歩道として最適なコースであった。



参加者は協賛いただいたダスキン株式会社様から提供されたミネラルウォーターを手に、元気にウォーキングを行った。

ゴール会場の千里金蘭大学では、お楽しみ企画の抽選を行ったのち、すっかり日が落ちた大学グラウンド内で学園祭「百花繚蘭祭」の打ち上げ花火を楽しみ、千里竹あかりを見て回るなど、思い思いに楽しいひと時を過ごすことができた。

このウォーキングイベントはアジェンダ21すいた「歩きたくなるまちづくり」のキックオフイベントであり、イベントとしてはまだまだ不十分なところもあったが、このイベントを通じて、車に頼らない地球に優しいライフスタイルについて考えるきっかけとなることを目指したもので、次年度につながる取組みとなった。

